

題字は阿部華怜さん（会津美里町・本郷中2年）

旋律でつなぐ 祖父の縁

とんぼの ためがね作曲 故康三郎さんゆかりの地へ



復興支援で須賀川市を
訪れる平井元嘉さん

東日本大震災の復興支援の一環で須賀川市を訪れる。祖父が作曲した須賀川市歌や須賀川三中校歌の旋律に復興の願いを乗せて、交流の糸を結ぶ。

震災後、復興支援チャリティー・コンサートを国内外で約三十回にわたり開いた。在英人会ロン・ドンしゃくなげ会の満山喜郎会長べたの橋渡しで

本郷ゆかりの草書「ほんぽのめがね」などを知られる作曲家の故・平井良輔さん（一九一〇～二〇〇二年）の孫で英國を拠点に活動するピアニスト平井元喜（ひらい・もとき）さんは大日（だいじつ）もときさん（四三）は大日（だいじつ）

元吉さんは康三郎さんやチエロ奏者の父・丈一朗さんもいらっしゃはじめとする音楽一家に生まれた。慶應大文学部卒業後、英國王立音楽院大学院びアノ科を修了。欧州や世界各国で演奏している。

きょう須賀川で演奏

なでよく歌を歌った。私のために童謡を作つてくれたこともある。家族であるとともに音楽の師匠だった」と振り返る。

「福島県の皆さんには震災後、大変な苦労を乗り越えてこられた。音楽の喜びを分かち合い、糧

ティーを奏で、生徒と交流する。

当日は首先て飯田市長の業務が終り須賀川市役所を訪れる。橋本克也市長に支援活動を説明する。須賀川三中で演奏会を開き、体育馆で約三百五十人の生徒を前に曲を披露する。祖父が作った同校校歌や須賀川市歌の明るく希望に満ちたメロ

福島民報社が協力する。

なでよく歌を歌った。私
のために童謡を作つて
くれたこともある。家族
であるとともに音楽の師
匠だった」と振り返る。
「福島県の皆さんは震
災後、大変な苦労を乗り
越えてこられた。音楽
の喜びを分かち合い、穏
やかな気持ちになつて
訪問について「音楽を
いただければうれしい」
と願う。



ピアノを弾く（左から）
平井康三郎さんと孫の元喜さん、秀明さん兄弟